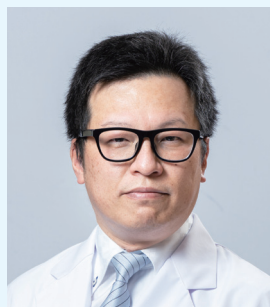


- 最新事情 耳鼻咽喉科 / 内視鏡下甲状腺手術 / アルツハイマー病治療薬レカネマブによる治療開始 (中面)
- 北部病院からのお知らせ (裏面)

消化器外科

最新事情



消化器外科診療科長
さわだ なるひこ
澤田 成彦

2024年6月11日に消化器センター消化器外科診療科長を拝命いたしました澤田成彦と申します。当消化器センターは内科・外科といった従来の枠組みにとらわれず、個々の患者さんに最適で最善な治療を提供できるように、各科の垣根を越えて連携し、互いに協力して診療に当たっております。

患者さんに選ばれるべく、より良い魅力的な病院を目指しております。質の高い最新の医療技術を磨くことはもちろん、患者さん一人ひとりの目線に立ち、常に寄り添った医療を提供すべく精進する毎日です。診療ガイ

ドラインを遵守することも大切ですが、患者さんのバックグラウンドを考慮し、家族関係、社会的・経済的背景、人生観などを含めた“全体像”を捉えた治療を行うことが重要と考えております。

「最新事情」ということですので、ロボット手術についてお話をします。当消化器センター外科はロボット手術ダヴィンチを導入しております。学会認定の指導者（プロクター）を含めて内視鏡外科学会技術認定医が必ず胃癌および大腸癌の治療に当たっています。有難いことに全国から患者さんが来院されており、手術件数も国内トップクラスとなっています。

ロボット手術は、狭い空間であっても拡大して術野を観察できること、関節鉗子の高度な柔軟性により自由度の高い多関節機能を有することが特徴です。自動で手振れ補正をしてくれること、鉗子の操作性が格段に向上していることから、繊細で緻密な動きを追及できます。より精密・精細に手術を行うことが可能となるため、低侵襲で高い根治性を確保でき、機能温存を実現できます。他にもメリットは多く、傷口が小さく術中の出血量が少ないこと、さらに術後の痛みが少なく回復も早い、といったことも挙げられます。

ロボット手術については、おそらく今後、AIや高速通信といった次世代のテクノロジーも加わって、将来的にも大きく発展し、さらに普及し、徐々に標準的治療法に位置づけられていくと見込まれます。

消化器センターは、消化管のがんを扱うことが多い診療科となります。病気を治すこと以上に心のケアも強く求める患者さんが多くおられます。そのため、まずは安心感を得ていただくことに重点を置き、患者さんの視点に立ったコミュニケーションを大切にしております。命を預かる医療の現場ですので、高度な医療技術や医療知識の習得は当然のことではありますが、常に患者さんとの信頼関係を築けるように努めて参ります。

地域医療機関のみなさまへ

今後も引き続き、より効果的に癌を克服すべく、治療法の開発につながる研究を継続し、成果を得るべく続けて努力して参ります。また、当消化器センターでは腹部救急疾患にも力を入れております。現在、Dr to Drは手術室がいっぱいなどの理由で、夜まで待てない緊急を要する患者さん以外はすべて受け入れていると思います。地域医療の先生方のご期待に添えるよう、診療に力をいれていきたい所存です。今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

耳鼻咽喉科

最新事情



耳鼻咽喉科診療科長
のがき たけとし
野垣 岳稔

2024年6月から耳鼻咽喉科診療科長に就任いたしました、野垣岳稔と申します。

これまで大学病院、市中病院など様々な病院で、中耳炎外来、副鼻腔炎外来、嗅覚外来、甲状腺外来、腫瘍外来など、幅広い領域の専門外来を担当し、研鑽を積んで参りました。そのなかでも、中耳疾患、副鼻腔疾患を専門としております。耳鼻咽喉

科に限らず、近隣の様々な科の先生にご紹介を頂いており、耳鼻咽喉科の幅広さに改めて気づかされております。

耳鼻咽喉科はゆりかごから墓場までみる科と言われる。新生児の聴覚スクリーニングに始まり、その精査のための検査を行います。現在は当院で人工内耳はできないため、人工内耳の適応の場合は他院に紹介となります。小児は滲出性中耳炎や扁桃肥大です。アレルギー性鼻炎の児も増えており、舌下免疫療法を行うお子様もいます。大人になると、慢性扁桃炎や鼻中隔湾曲症、慢性副鼻腔炎の方が増えてきます。近年は難病である好酸球性副鼻腔炎が増えており、手術の難易度が上がっています。好酸球性副鼻腔炎の最新の治療として、生物学的製剤を使う機会が増えてきました。壮年期に入ると頭頸部の腫瘍の方が増えてきます。当院は甲状腺センターが有名なため甲状腺腫瘍の方はあまりいませんが、唾液腺腫瘍の方は数多く紹介いただき手術を行っています。悪性腫瘍の方には化学放射線療法を中心に、再建が必要な大規模な手術は昭和大学病院の頭頸部腫瘍センターやがん専門病院などに紹介しています。突発性難聴の方にはステロイドの点滴を行い、症例によってはステロイドの鼓室内投与を行います。顔面神経麻痺の方にも同様にステロイドの点滴を行い、改善が悪い場合は顔面神経減荷術を行います。当院には緩和ケア病棟がありますので、がんの終末期の方の診察も行います。例に挙げた以外にも様々な疾患があり、幅広い年齢、疾患に対して診察を行っているのが耳鼻咽喉科です。

スタッフ一同、近隣の先生方、地域の皆様の期待に沿えるよう努めてまいります。どうぞよろしくお願い申し上げます。

地域医療機関のみなさまへ

しばらく当院では中耳炎の手術を行っていませんでしたが、準備が整いましたのでできるようになりました。耳管ピンも対応可能です。耳の症例も紹介をお願いいたします。

緊急時は地域医療連携室（045-949-7151）へご連絡をいただければ、当科救急担当医が対応いたします。よろしくお願いいたします。



内視鏡下甲状腺手術を行っています

甲状腺センターでは内視鏡下甲状腺手術を行っています。通常の甲状腺手術は前頸部の皮膚を切開します。手術痕が目立たないように様々な工夫をして皮膚縫合を行いますがどうしても細い線状の手術痕は残ってしまいます。甲状腺疾患は女性に多く、露出される頸部に傷が残ることで手術に抵抗を感じる患者さんが少なからずおられました。

内視鏡下甲状腺手術は近年保険収載され、片葉切除であれば片側の鎖骨下の衣服の下に隠れる位置に3cm程度、甲状軟骨付近に5mmの2つの切開のみで手術が可能です。現在多くの施設で内視鏡下甲状腺手術が行われており、出血、反回神経麻痺など合併症の頻度は従来の方法と全く変わらないと報告されています。

当科では良性腫瘍と1cmまでの低悪性度微小癌に対してはラジオ波焼灼術も行っていますが、その適応から除外していた濾胞性腫瘍や1cmを超える乳頭癌も内視鏡下甲状腺手術が可能です。ただし、大きな腫瘍やリンパ節転移・周囲への浸潤が疑われる場合は通常の手術をお勧めします。頸部に傷が残ることで手術をためらう患者さんには内視鏡下甲状腺手術の選択肢をご提案ください。



アルツハイマー病 治療薬

レカネマブによる治療を開始しました

当院ではアルツハイマー病による軽度認知機能障害（Mild Cognitive Impairment : MCI）および軽度認知症の患者さんに抗アミロイドβプロトフィブリン抗体、レカネマブによる治療を行います。レカネマブは脳内のアミロイドβの蓄積を取り除きアルツハイマー病の進行を抑制する点滴による薬物治療です。

当院では、脳神経内科（内科）と精神科（メンタルケアセンター）の専門の医師が診断や導入の判断を行います。初期導入施設として脳内のアミロイドβ沈着を確認するためにアミロイドPETと腰椎穿刺検査の双方を行うことができ、初回投与は内科病棟に2泊3日の入院を行い実施します。2回目以降は2週毎に外来で行います。

対象はMCIや軽度の認知症に限定されるため、MMSE得点が21点以下またはCDRが1.5以上の重症の患者さんや、レビー小体型認知症などアルツハイマー病以外の認知症は対象となりません。また微小脳出血等の副作用対応のためMRIの実施が必須となります。

現在、ご紹介を受けるための専門の窓口やフォローアップ機関との連携整備を進めています。詳しくはホームページに掲載していきますので随時ご確認ください。

北部病院からのお知らせ

1 地域医療連携フォーラムを11月13日（水）に開催します

第31回地域医療連携フォーラムを次のとおり開催いたします。

日 時：2024年11月13日（水）19時15分から21時（予定）

※今回は水曜日の開催です。

会 場：昭和大学横浜市北部病院

講演会：西棟4階 講堂 / 懇親会：中央棟9階 食堂

※お車でご来場の際は、懇親会場のある中央棟地下駐車場をご利用ください。

講演1：アルツハイマー病の薬物治療

座長 ウェルケアはら脳神経内科 院長 原 一 先生

演者 メンタルケアセンター 准教授 富岡 大

講演2：意識障害に遭遇したら

座長 医療法人社団鳳和会 理事長 高山 瑠衣 先生
港北メディカルクリニック 副院長

演者 救急センター 准教授 加藤 昌人

懇親会：立食形式

当院ホームページやチラシで参加方法等をご案内させていただきますので、ご参加のほどお願い申し上げます。

2 病診連携研修会の予定

名 称	内 容	日 時	開催場所	担当医師等・連絡先
昭和大学横浜市北部病院 産婦人科 地域勉強会	講 演	10月7日（月） 18：45～20：00	web	産婦人科 宮本・大場 045-949-7000
第57回 都筑区小児科医会と 昭和大学横浜市北部病院 との連携勉強会	講 演	10月11日（金） 19：30～21：00	北部病院 中央棟9階 大会議室	こどもセンター 渡邊 常樹 tsuneki5@med.showa-u.ac.jp
第2回 横浜市北部緩和ケア研修会	事前e-learning 及び集合研修	10月20日（日） 9：00～17：35	北部病院 西棟4階 講堂	管理課 緩和ケア研修会担当 nhkanri@ofc.showa-u.ac.jp 045-949-7108
第4回 横浜北部エリア整形外科 医療連携の会	講 演	10月22日（火） 19：30～21：20	ハイブリッド開催 メロンディアあざみ 野・web	整形外科 川崎 045-949-7000
第42回 日本大腸検査学会総会	演題発表、講演、 ハンズオントレーニングセミナー	10月26日（土）・ 27日（日）	コングレスクエア 日本橋	消化器センター消化器内科 若村 045-949-7265 ホームページ （プライベートサイト）参照

3 月曜日祝日（国民の祝日にあたる月曜日）の対応

日 付	曜 日	休日名	対 応
10月 14日	月	スポーツの日	※救急対応を原則とし、救急、初診、紹介、並びに通院中の方で状態変化による臨時再診をお受けします。 ※紹介状がない場合は選定療養費（8,800円）が別途発生する場合があります。
11月 4日	月	文化の日 振替休日	

※来年1月13日（成人の日）及び2月24日（天皇誕生日の振替休日）も同様の対応となります。

※また、11月15日（金）は創立記念日のため、休診とさせていただきます。